※令和４年度以降入学生用

学校番号	3023

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	(学)数学演習ⅡBC	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	ニューステージ数学演習Ⅰ・A＋Ⅱ・B・C　(数研出版)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・「課題を理解する→結果を予想する→解決の方向を構想する→解決する→解決の過程を振り返ってよりよい解決を考える」といった一連の過程で、自分の考えを発表、議論したりします。
・問題をまず自分で解いてみましょう。ただ答えを求めるだけでなく、途中式や考え方も書くようにしましょう。また、各自答え合わせをしてください。答え合わせは、自分がどこでつまずいたかを知るための大切なものです。
・家庭学習における課題・宿題は、定期的に提出してもらいます。最後まであきらめずに取り組みましょう。

２　学習の到達目標

数学Ⅱ・B・C の全範囲を、副教材を用いて基礎から復習し、数学Ⅱ・B・C を活用するための知識や技能を習得する。
１つの問題に対して複数の解答を考えることで、出題の数学的背景を考察する能力を養う。
１０月からは、実践問題を演習し、数学的論拠に基づいて判断しようとする態度を身に付ける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	２年次までに学んできた内容を整理し、まとまった知識として活用しようとする。また、問題として問われている内容を数学的に表現し、処理・解決することができる。	出題の数学的背景を考察し、別の方法による解答を試みたり、他の側面から解を考察したりすることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	数学Ⅱ	式と証明 複素数と方程式 点・円・直線 曲線と直線 軌跡と領域 三角関数 指数関数 対数関数	a: 事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理している。 b: 日常の事象や社会の事象など数学的に表現・処理して問題を解決し、解決の過程や結果を振り返って考察することができる。 c:数学的な見方・考え方を働かせながら、日常の事象や社会の事象を数理的に捉え、数学に問題を見いだし、問題を自立的、協働的に解決しようとしている。	定期考査・小テスト	定期考査・小テスト	課題ノート

※令和４年度以降入学生用

	数学Ⅱ 数学C	導関数と接線 関数の値の変化 微分法の応用 不定積分 面積 ベクトルの基本 平面ベクトルと図形 空間ベクトルと図形	【微分積分】 a:微分係数・導関数や不定積分・定積分の意味を理解している。 b:関数の局所的な変化に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。微分と積分の関係に着目し、様々なグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。 c:微分・積分に関心を持つとともに数学のよさを認識し、それらを事象の考察に活用しようとしている。 【ベクトル】 a:ベクトルの意味、基本的な性質について理解している。座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解している。 b:実数などの演算方法と関連付けてベクトルの演算方法を考察することができる。平面図形や空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。 c:ベクトルについて、数学的活動を通じて、その有用性を認識し、数量や図形及びそれらの関係に着目し、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用しようとしている。	定期考査・小テスト	定期考査・小テスト	課題ノート

※令和４年度以降入学生用

2	数学B	等差数列・等比数列 種々の数列 漸化式と数列 漸化式と数列 数学的帰納法	a:等差数列、等比数列やいろいろな数列について理解している。漸化式・数学的帰納法について理解している。 b:事象から離散的な変化を見いだし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。数列の考えを問題解決に活用することができる。 c:数列における日常の事象や社会の事象などを通して、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとしている。	定期考査・小テスト	定期考査・小テスト	課題ノート
	数学ⅡBC	統計的な推測 総合演習(テストゼミ)	a: 統計用語の意味を理解し、様々な値を求めることができる。大数の法則について理解している。信頼区間の考え方を用いて，母平均や母比率の推定ができる。仮説検定の意味を理解し，正規分布を用いた仮説検定ができる。母平均に対する仮説検定ができる。 b: 確率変数の期待値，分散，標準偏差などを用いて，確率分布の特徴を考察することができる。二項分布や正規分布などの特徴を理解し，さまざまな視点から捉えられる。 c: 確率的な試行の結果を表すのに確率分布を用いることのよさに気づき，確率分布について積極的に考察しようとする。連続的な確率変数である正規分布に興味をもち，正規分布について積極的に考察しようとする。	定期考査・小テスト	定期考査・小テスト	課題ノート
3	数学ⅡBC	総合演習(テストゼミ)	a:数学ⅡBC に関する基本的な知識や計算技能を習得し、正解を導くことができる。 b:誘導に従い客観的に答えるだけでなく、一般化したり別解を考えるなどの、深い考察をすることができる。 c:数学の良さを認識し、論理的思考や数学知識を駆使して、社会や実生活との関連を考察できる。	小テスト	小テスト	課題ノート

※令和４年度以降入学生用

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度